



レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡 第29回研修会・交流会



2024年8月18日（木）に第29回研修会・交流会を天神・BiVi福岡で、協力医 合馬慎二先生の司会のもと開催しました。初参加の方9名を含む26名方にご参加いただきました。ご本人1名、ご家族が7名でした。

合馬Dr.より、幻視・錯視への対応についてお話がありました。「何が見えるか」「いつ見えるか」「どこで見えるか」「悪さをする・怖いか」を確認し、悪くない幻視は特に治療はせず、追う払うしぐさをしましょう。そして、強い否定も肯定もせず共感することが大切です。散歩に行ったり、テレビを観るなどの気分転換も効果的です。

グループワーク

- 2年半前から佐世保から参加している。参加することで、いつも何かしらのヒントをもらって帰っている。
 - 本人に病名を伝えていない。→本人が不安を抱えているようであれば伝えてあげたほうがよい。家族が言うよりも、信頼できる医師から伝えたほうがよい。
 - ご本人が外出を希望するときは、「ついていく」といった上からのアプローチ法ではなく、「ついていってもいい？」といった下からのアプローチをとってはどうか。
 - ご本人が変わることは難しいため、対応方法を変えていくのがよい。
 - デイサービスに通うことについて、ご本人が拒否ではないが、めんどくさがる。→スタッフから「ぜひ来てください」と招いてはどうか。家族が行くように促すと、家から追い出すイメージとなってしまう。
 - 次回の研修会・交流会は 2024年10月10日（木）18時～BiVi福岡6階会議室です。
- *参加の際には、マスクの着用、自宅での体温測定をお願い致します。



報告者：DLBSN 福岡 副代表坂梨左織